

## (医学入門)

# 医学入門〈PM〉

### オーガナイザー

教育研究開発センター 教授 村田 顕也

## I 一般学習目標

医学の基本的な医学体系・概念および医療システムおよび基礎医学、臨床医学の関連について理解する。また、医療において知識・技能以外に倫理観・人間性が重要であることを、体験を通して理解する。

## II 個別学習目標

1. 臨床研究や臨床試験（特に治験）の概略が説明できる。
2. EBM の情報を取得、利用できる。
2. 飲酒・喫煙の弊害について述べることができる。
3. エスコートや車椅子の取り扱いができる。
4. 接遇・個人情報の保護について概要を述べることができる。
5. 医師としての身分、守るべき法令について概要を述べることができる。
6. 病院の機能について述べることができる。
7. 医療・福祉制度について述べることができる。
8. 医学体系について述べることができる。
9. 基礎医学・臨床医学についての概要および相互の関連を述べることができる。
10. 全身および組織の概要について述べることができる。

## III 教育内容

### 講義項目と担当者

|                        |            |       |
|------------------------|------------|-------|
| 1 飲酒・喫煙について            | 公衆衛生学      | 竹下 達也 |
| 2 EBM（研究のデザインとエビデンス検索） | 臨床研究センター   | 下川 敏雄 |
| 3 情報検索について（図書館利用）      | 教育研究開発センター | 村田 顕也 |
| 4 認知症                  | （教員未定）     |       |
| 5 エスコート実習              | 教育研究開発センター | 村田 顕也 |
| 6 地域福祉施設体験実習           | 教育研究開発センター | 村田 顕也 |
| 7 接遇・個人情報保護            | 教育研究開発センター | 村田 顕也 |

## IV 評価方法

- ① 講義：出席および授業態度(50%)、感想文(50%)
- ② 地域福祉施設体験実習：エスコート実習・事前講習への出席および授業態度（20%）  
実習先での評価(40%)、体験実習報告書(20%)、体験実習報告会の発表内容(20%)

講義と地域福祉施設体験実習の総合評価とする。

講義については 2/3 以上の出席がなければ不合格とする。  
評価の基準は大学の基準による。

地域福祉施設体験実習では、実習先から実習態度について問題があると報告された学生には、医学入門の単位を認めないことがある。

## 講 義 日 程 表

| No. | 月日         | 曜日  | 時限  | 項 目                  | 担 当 科      | 担当   |
|-----|------------|-----|-----|----------------------|------------|------|
| 1   | R2.4.21    | (火) | 4   | 飲酒と喫煙                | 公衆衛生学      | 竹下達也 |
| 2   | R2.4.28    | (火) | 4   | EBM(研究のデザインとエビデンス検索) | 臨床研究センター   | 下川敏雄 |
| 3   | R2.8.25    | (火) | 4   | 認知症                  |            | 教員未定 |
| 4   | R3.2.2     | (木) | 1～5 | エスコート実習、事前講習         | 教育研究開発センター | 村田顕也 |
| 5   | R3.2.22～26 |     |     | 地域福祉施設体験実習           | 教育研究開発センター | 村田顕也 |
| 6   | R3.3.1     | (月) | 1～3 | 地域福祉施設体験実習報告会        | 教育研究開発センター | 村田顕也 |